

SDGs研修会

参加
無料

(どなたでも)

知ってるつもり？SDGs
- 本当のサステナブルをめざすために

変更しました

日時 2022年3月5日(土) 13:30-16:30 受付 13:00～

会場 対面：愛媛大学教育学部2号館1階大講義室（松山市文京町3番）
オンライン：WEB会議システム（ZOOM）
(特別指定地域・指定地域にお住いの方はオンラインでの参加をお願いします。)

講師 高橋真樹氏 (ノンフィクションライター)

NGO職員として世界70カ国以上で活躍された後、現在はフリーのノンフィクションライターとして「持続可能な社会」をテーマに取材・執筆・講演活動をされています。著書やメディアへの出演も多数あり、大変お忙しい中、今回の講演を引き受けていただきました。日本・世界のSDGsの現状について知りたい方、この機会は絶対逃せません。ご参加お待ちしております！（裏面の高橋氏の略歴をご覧ください。）



内容 ①高橋真樹氏による講演
②宇和島市中高生有志による課題解決プロジェクト中間発表
③参加者・講師を交えたコミュニケーション、情報交換・交流

その他 ①会場（愛媛大学）のBCP（業務継続計画）及び感染対策ルールに従って実施します。
(https://www.ehime-u.ac.jp/data_news/data_news-110929/)
②マスク着用、体調確認、検温、消毒など基本的な感染対策を遵守していただきます。
③新型コロナウイルスの感染状況により、実施形態を変更する可能性もあります。
参加者には決定次第、お伝えします。
④会場に駐車場はありません。公共交通機関もしくは近隣の駐車場をご利用の上、お越しください。（最寄り駅：伊予鉄道市内電車 赤十字病院前）学内は全面禁煙です。

参加をご希望の方は下記よりお申込みください。

下記URLからお申し込みください。**3月3日(木)まで受け付けます。**

<https://forms.gle/SpGX5FvH34YXG47Z7>



問合せ 藤原 一弘 (愛媛大学教育学部教育臨床講座 准教授) (愛大・ESDラボ 代表)
TEL 089-927-9531 fujiwara.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp

※本会は、公益財団法人日本教育公務員弘済会より令和3年度日教弘本部奨励金の助成を受けて行います。



高橋真樹氏の略歴 (<https://t-masaki.com/profile/>)

ノンフィクションライター
放送大学非常勤講師

1973年、東京・多摩地域生まれ。

1996年、早稲田大学在学中に国際NGOと出会い、世界をめぐることに。以降、NGO職員として世界約70ヶ国を訪れ、主に災害支援、難民支援、核兵器廃絶、国際協力、平和教育などの分野で活動する。

2002年に出版した初の単著『イスラエル・パレスチナ平和への架け橋』では、第8回平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞を受賞。

2010年、フリーのノンフィクションライターとして独立。「持続可能な社会」をテーマに、国内外をめぐり、取材、執筆、講演活動を続けている。

2017年には、取材の過程で知った世界トップレベルのエコハウスで暮らし始め、その体験をブログ「高橋さんちのKOEDO低燃費生活」で執筆中。2018年に公開された自然エネルギーによるまちづくりを描いたドキュメンタリー映画『おだやかな革命』（渡辺智史監督）では、アドバイザーを務めた。

○近年の取材テーマはSDGs、気候変動を含む環境・エネルギー問題、まちづくり、難民、災害、貧困、核問題、国際情勢など幅広い。激動する社会的テーマを、国際的な視点からわかりやすく、かつ深く、自分ごととして理解してもらえるよう伝えることをモットーとしている。

○これまで執筆および記事の監修をした媒体の一部

「朝日新聞be」（監修）、「東京新聞」（連載）、『暮らしの手帖』（監修）、『季刊 住む。』（泰文館）、『世界』（岩波書店）、『週刊SPA』『YSPA』（扶桑社）、『生活と自治』（連載／生活クラブ連合会）、『ソーラージャーナル』（アクセスインターナショナル）、『だん』（連載／新建新聞社・新建ハウジング）、『月刊ガバナンス』（ぎょうせい）、『月刊地方議会人』（全国町村議会議長会）ほか多数。WEBメディアでは、「働きたくなるオフィス大全」（日経BP社）、「グリーンズ」、「FRIDAYデジタル」、「オルタナ」、「ハーバービジネスオンライン」ほか多数。

○取材を受けた媒体および紹介された媒体

「通販生活 カタログハウス」、「TBSラジオ 荻上チキのSession22」、「文化放送 大村正樹のサイエンスキッズ」、「NBC長崎放送」、「朝日新聞」、「毎日新聞」、「東京新聞」、「神奈川新聞」、「河北新報」、「グリーンズ」、「台湾今週刊」（台湾メディア）ほか多数。

○著書

「日本のSDGs:それってほんとにサステナブル?」、「ぼくの村は壁で囲まれたパレスチナに生きる子どもたち」、「そこが知りたい電力自由化 自然エネルギーを選べるの?」、「ご当地電力はじめました!(岩波ジュニア新書)」、「親子でつくる自然エネルギー工作 2 太陽光発電」、「自然エネルギー革命をはじめよう: 地域でつくるみんなの電力」、「しあわせcafeのレシピ: カフェスローものがたり」、「カラー図解 ストップ原発〈4〉原発と私たちの選択」
など多数。

○講演実績

放送大学（面接授業）での「パレスチナ難民問題」の講義は、2008年からほぼ毎年開講。また、主に以下の大学や自治体、団体、組織などで環境・エネルギー問題や中東問題などをテーマに講義を実施。

大学では、早稲田大学大学院、フェリス学院大学、清泉女子大学、南山大学、名古屋大学、大東文化大学、信州大学、明星大学、東洋大学、獨協大学、法政大学、長崎大学、鹿児島大学ほか多数。

自治体では、宝塚市（兵庫県）、名張市（三重県）、日田市（大分県）、大町市（長野県）、千葉商科大学ほか多数。生協関連では、生活クラブ生協の東京、神奈川、埼玉、大阪、愛知などの各支部、大地を守る会ほか。

ご著書紹介



日本のSDGs:それってほんとにサステナブル?
大月書店 (2021/3/18)

新刊情報: 2022年1月刊行
『こども気候変動アクション30- 未来のためにできること』
(かもがわ出版)